

2008年3月12日

ベクター・ジャパン株式会社

※2008年3月7日にドイツで発表されたプレスリリースの抄訳です。

ベクター・インフォマティック
AUTOSAR プレミアム メンバー アワードを受賞
～コンソーシアムが AUTOSAR 仕様の策定において、
プレミアム メンバーとしての貢献を高く評価～

ドイツ、シュツットガルト -2008年3月7日- ベクター・インフォマティック社(本社:ドイツ、シュツットガルト、以下ベクター)は、AUTOSAR 開発パートナーシップ内での貢献から、AUTOSAR プレミアム メンバー アワードがベクター・インフォマティック社 代表取締役 Helmut Schelling(ヘルムート・シェリング)へ授与されたことを発表しました。

2008年2月27日にドイツ、シュツットガルトで開催された、第6回 AUTOSAR 開発パートナーシップ プレミアム メンバー会議で、AUTOSAR プレミアム メンバー アワードが、初めてベクターに授与されました。AUTOSAR 開発パートナーシップ メンバーは、現在広範囲に及んでいますが、シェリングは、AUTOSAR 運営委員会のメンバーである Heinecke 教授から賞を受け取りました。この賞は、AUTOSAR 仕様の策定において、ベクターの積極的な貢献を高く評価したものです。

新しい標準を作成するにあたって、当初からベクターは、プレミアム メンバーとして直接参加し、これまで20年にわたる自動車分野での電子ネットワーク、ECUソフトウェアの開発経験をもって、コンソーシアムの活動に貢献しました。シェリングは「この賞は、AUTOSAR 開発パートナーシップや自動車の電子化の標準化に、当社の専門的技術で貢献し続けてきた成果だと思っています。」と述べました。ベクターは、2007年11月から、ECUの量産に使われることを目的とした、リリース2.1に準拠のAUTOSAR ベーシックソフトウェアを自動車業界に供給してきました。また、2008年第2四半期までに、AUTOSAR3.0の仕様書に基づくAUTOSAR ベーシックソフトウェアとツールの供給を開始する予定です。

ベクターは、オペレーティング システムやランタイム環境と同様に、マイクロコントローラ抽象レイヤー、メモリー マネジメント、CAN、LIN、FlexRay 向けの通信スタックを含めて、AUTOSAR 準拠 ECUの開発を完成段階までサポートします。これによって、自動車メーカーとサプライヤは、システム設計、コンフィギュレーション、生成、統合のためのベクターのツールチェーンとともに、個々の要求に応じてカスタマイズされたAUTOSAR ソリューションを実行することができます。



【写真: AUTOSAR プレミアム メンバー アワードを受賞したベクター・インフォマティック社 代表取締役 Helmut Schelling(ヘルムート・シェリング)】

ベクター・ジャパン株式会社およびベクター・グループの概要

ベクター・ジャパン株式会社は、1998年8月、CANをはじめ FlexRay、MOST、LIN 等の通信規格の車載ネットワークを開発するためのソフトウェアツールおよびソフトウェア・コンポーネントを開発・販売するドイツ ベクター・インフォマティック社 (Vector Infomatik GmbH) の日本法人として設立されました。ベクター・グループは、ドイツ、日本のほかに、アメリカおよびフランス、スウェーデン、韓国にも支社を持ち、グループ全体で約 800 名の従業員を擁します。現在、車載ネットワークシステム開発用ツールおよびソフトウェアの分野では、世界のリーディングプロバイダーとして認知されています。また自動車分野で培った LAN のノウハウを、商用車や輸送機関、制御工学などの自動車以外の産業にも提供しています。

ベクター・ジャパン株式会社ホームページアドレス:

<http://www.vector-japan.co.jp/>

本件に関する報道関係者のお問合せ先

ベクター・ジャパン株式会社 マーケティング・コミュニケーション課

TEL: 03-5769-6981

FAX: 03-5769-6975

E-Mail: shinsuke.yokoyama@vector-japan.co.jp